

大阪 震度6弱

写真の朝日新聞 18 日夕刊 1 面のように大阪北部で観測史上、初めて震度 6 弱の地震が発生した。なんとも悲しいのが、高槻市の小学 4 年の女子生徒が犠牲になったことだ。すこし早めに一人で学校に向かっていった時のことだ。

フェイスブックで投稿してきたが、私の「その時」を写真とともに「記録」しておきたい。災害時の「記憶」をしっかり記録して、これからの課題を考えるために。

いつもの月曜日のように、東三国から地下鉄御堂筋線に乗り、新大阪で「あびこ」行きの電車に乗り換えた。朝早く起きてレポートを書いていたので、電車のなかで眠りかけていたが、「本町」停車中に、すごい横揺れで目が覚めた。大きな地震なので、地上に出るようにと。



本町駅の地上には多くの人たちが。ここで御堂筋を眺めながら、座って情報収集した。震度 6 弱の地震が大阪府北部で発生したと分かり、ともかく帰宅することにした。本町だと、なんとか自宅まで歩けると考えた。御堂筋は多くの人歩いていた。途中、大阪万博誘致の旗を見て、腹立たしく感じたものだ。淀屋橋駅の地上は、多くの人たむろ。市役所に行ったが、地震などなかったかのように、なんだか静まり返っていた。

大阪駅では列車を待つ人であふれていた。ふとバス停を見ると、「守口車庫」行きのバスが発車するところ。不安もあったが飛び乗った。これが正解であり、長柄橋に近い天神橋 8 で降りた。

ながい橋を渡り、浄水場から東中島、新大阪に向け歩いた。だんだん足が重たく



なってきた。自宅エレベーターは止まっていたが、自宅に着いてほっとした。

今回は途中のバスも入れて、3 時間弱で帰宅できた。火災や津波が起こっていれば、こんなにスムーズにはいかないだろう。今回、とりわけ災害時にどう行動するべきか、得られる情報は少なかった。行政とともに、交通事業者やメディアにも改善を求めたい。

(2018 年 6 月 19 日)